

## アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2007/10/15 駐在員：山川祐司

### ミシガン湖のカーフェリー

州都ランシングから北西へ自動車で2時間あまりのラディントン市と、ミシガン湖をはさんだ対岸のウィスコンシン州マニトワック市との間をカーフェリーが運航しています。フェリー会社のホームページによると、620人の乗客および180台の車両の収容が可能で、「バスやトラックなどの大型車両も楽々と運搬出来る」とその規模が宣伝されています。また、船内には食堂や土産物店の他、映画上映室や子ども用の遊び場など、4時間の船旅を快適に過ごすための施設が設けられています。

ミシガン湖のカーフェリーの歴史は100年以上昔に遡り、貨車の積み込みで鉄道輸送を支えて大きな役割を果たし、1950年代にそのピークを迎えたこと等が港の説明板に記されています。

このフェリーの運航は10月15日から来春までの間、冬季の休止期間に入ります。

10月上旬までは残暑を思わせる気候により、週末には湖岸の水泳場が賑わっていたようですが、中旬に入って少しずつ冷え込むようになりました。ミシガンでも秋の深まりが感じられます。



夜明けの港で出港を待つカーフェリー  
ミシガン州は東部時間、対岸のウィスコンシン州は中部時間に  
属するため、船内には両時間の時計が並んで設置されています。



古い港町の面影が残るラディントンの市街地